



方向性 2

## 脱炭素に貢献する再生林の拡大

[ 主な取組 ]

- 1 造林者と伐採者の連携による効率的な再生林を促進します。
- 2 植栽密度や下刈り回数の低減など低コスト・省力造林技術の定着を図ります。
- 3 成長に優れたスギエリートツリー等の普及拡大を図ります。
- 4 森林由来のJ-クレジット制度の周知と認証取得に向けた支援を強化します。

2024	735 ha	再生林面積	0 ha	スギエリートツリーの造林面積	886 百万円	森林由来のJ-クレジットの販売額
	▼		▼		▼	
2026	760 ha		62 ha		930 百万円	
2027	770 ha		78 ha		1,060 百万円	
2028	780 ha		79 ha		1,140 百万円	
2029	790 ha		159 ha		1,350 百万円	
		県調べ		県調べ		県調べ

方向性 3

## 生産・供給体制の強化と県産材の販路拡大

[ 主な取組 ]

- 1 効果的な路網整備を推進するとともに、先進的な林業機械やスマート技術等の導入を促進します。
- 2 市場のニーズに対応した木材の加工・流通体制を強化します。
- 3 建築物の木造・木質化と県産材の利用拡大を図ります。
- 4 実需者とのマッチングなど県産材の輸出拡大に向けて支援します。

2024	1,465 千㎡	素材生産量	622 千㎡	県産材出荷量
	▼		▼	
2026	1,580 千㎡		699 千㎡	
2027	1,640 千㎡		736 千㎡	
2028	1,660 千㎡		762 千㎡	
2029	1,700 千㎡		792 千㎡	
		県調べ		県調べ

方向性 4

## 森林の有する多面的機能の維持・発揮

[ 主な取組 ]

- 1 第50回全国育樹祭を契機に森づくりの気運の醸成を図ります。
- 2 県民の参加による植樹活動や環境教育活動を推進します。
- 3 県民の暮らしを守る保安林等の森林病虫害対策を推進します。

2024	28,190 人	森づくり活動等への参加者数
	▼	
2026	30,500 人	
2027	32,000 人	
2028	33,500 人	
2029	35,000 人	
		県調べ

2024 / 実績値、2026~29 / 目標値



# 秋田県 総合計画

～秋田再興への第一歩～



2026-2029